

当団は2015年11月の荻窪音楽祭出演を機に設立、「音楽を軸とした地域コミュニティ」のビジョンの下、楽団に関わる全ての皆さまが楽しめるような「荻窪色」豊かな楽団を目指しています。

前半お送りするブラームスのピアノ協奏曲第2番は、過去当団で取上げた交響曲第2番やヴァイオリン協奏曲と並ぶ作曲家円熟期の代表作で、ピアノ交響曲とも言われる大曲です。ソリストは、国際コンクールで次々に上位入賞し今後とも世界的活躍が注目される、杉並区出身の桑原志織さんです。曲のスケールに相応しい、桑原さんのエネルギーで推進力に満ちた演奏をご堪能ください。後半はブラームスの大学祝典序曲をはさみ、当団初のメンデルスゾーン、交響曲第5番「宗教改革」を演奏します。21歳の若さで完成した2番目の交響曲（出版順は5番目）にして既に端正で時に哀感を伴う旋律や気品を備え、モーツァルトの再来と称された天才を強く感じます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

荻窪祝祭管弦楽団  
代表 小池弘真



©小谷野菜月

後藤悠仁  
指揮

Yuji GOTO (Conductor)

北海道妹背牛町出身。東京芸術大学を経て、1986年同大学院を卒業。1985年6月、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2009年まで首席奏者を務める。1993年、京都・北海道にてリサイタルを開催、好評を得る。2001年オペラシティを皮切りに、トップアンホールを経て、2004年より王子ホールにて毎年リサイタルを開催。2015年4月、日本フィルハーモニー交響楽団の常務理事に就任するとともに、ソロ活動を本格的に開始。

ヴァイオリン奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演、イリス弦楽四重奏団での室内楽等、各地で幅広い演奏活動を行っている。また、指揮者・トレーナーとしてもアマチュアオーケストラの指導など、精力的に活動している。

ヴァイオリンを中塚良昭、故ウルリッヒ・コッホ、室内楽を故黒沼俊夫、原田幸一郎、故ゲルハルト・ボッセの各氏に師事、指揮を広上淳一氏に師事。

現在、東京音楽大学指揮科特別アドバイザーも務める。荻窪祝祭管弦楽団音楽監督。

後藤悠仁



桑原志織  
ピアノ独奏

Shiori KUWAHARA (Piano solo)

東京都杉並区出身。ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクール(2021)、プゾーニ国際ピアノコンクール(2019)、ヴィオッティ国際音楽コンクール(2017)、マリア・カナルス国際音楽コンクール(2016)、これらの多彩なメジャー国際コンクールで次々と第2位を獲得し、一躍世界で注目される。ドゥシニキ国際ショパンフェスティバル(ポーランド)をはじめ、ヨーロッパ各地に招かれ、高い評価を得て活躍している。国内外のオーケストラとの共演も数多い。「月刊ショパン」(2021年7月号)では表紙を飾り、巻頭特集が組まれる。NHK・FM「リサイタル・ノヴァ」出演。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、2014年宗次徳二特待奨学生第一期生として東京芸術大学に入学。一年次に日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞(聴衆賞)。2018年同大学首席卒業。伊藤恵氏に師事。卒業時に安宅賞、大翼典雄賞、平山郁夫文化芸術賞ほか多数受賞。同年4月よりベルリン芸術大学大学院に留学し、クラウス・ヘルヴィッヒ氏に師事。ソリストマスター及び、国家演奏家資格課程を最優秀で修了。スタインウェイ・ベルリン賞受賞。



Shiori Kuwahara

## Information

※各演奏会詳細につきましては、各演奏会2ヶ月前頃に荻窪祝祭管弦楽団ホームページで広報いたします。

荻窪祝祭管弦楽団 第18回定期演奏会  
2025年5月11日(日) 14:00開演予定  
杉並公会堂 大ホール

指揮：後藤悠仁  
ホルン独奏：信末碩才

E.フンパーディンク：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲  
R.シュトラウス：ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 op.11  
J.ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op.98

## 団員募集

荻窪祝祭管弦楽団では一緒に演奏する仲間を募集しています。詳しくは当団ホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。